

動物実験に関する自己点検・評価報告書

兵庫県立大学 環境人間キャンパス

2026 年 4 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 ☐ 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 兵庫県立大学動物実験管理規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」（環境省）、「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」（文科省）に則った機関内規程が定められ、それに基づいた部局内規程で運用されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 ☐ 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 兵庫県立大学動物実験管理規程 令和 7 年度環境人間学部・環境人間学研究科各種委員会 名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 部局内規程で定められた人員で委員会が構成されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 ☐ 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 兵庫県立大学動物実験管理規程、動物実験計画書様式、実施計画変更申請書様式、動物実験の経過報

告書様式、動物実験の自己点検票様式、動物実験教育訓練記録様式
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 飼養保管に関する記録の様式も定めており、適正に実施された。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 ☐ 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 兵庫県立大学動物実験管理規程 兵庫県立大学環境人間学部 安全の手引き（兵庫県立大学環境人間学部安全管理委員会）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 規程において定めているが、本キャンパスでは該当する実験を実施していない。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果 ☒ 指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 兵庫県立大学動物実験管理規程、動物実験計画書及び動物実験の経過報告書、実験動物保管管理簿、飼育作業報告書、兵庫県立大学環境人間学部実験動物飼養保管マニュアル
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 飼養保管マニュアルで実験動物保管管理簿、飼育作業報告書の提出を毎月求めており、適正な飼養保管の体制ができている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

--

II. 実施状況

1. 動物実験委員会の活動状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験委員会内各種メール審議記録および議事録
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） ・ 研究計画書の審査は申請の都度メール審議を行い、計画段階における意見交換・助言を行った。 （R7 年度の審査件数 19 件中新規承認 13 件、変更承認 5 件、変更申請不承認→新規承認 1 件） ・ 新規動物実験従事者（飼養者含む）への教育訓練を実施した。 ・ 動物実験施設の環境管理や整備を随時行った。 ・ 自己点検・評価を行った。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験計画書、動物実験の経過報告書、動物実験の自己点検票
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 該当なし
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果

☒ 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 該当する動物実験を行っていない。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験計画書、動物実験の経過報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 特に安全管理上問題となるものはなかった。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 兵庫県立大学動物実験管理規程、兵庫県立大学環境人間学部実験動物飼養保管マニュアル
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 飼養保管マニュアルにより飼育作業報告書と実験動物保管管理簿を定め、月末に提出を受けることにより、飼養保管状況を確認できている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」（平成 25 年環境省告示第 84 号）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） ・ 臭気の防止のため、実験計画書には床敷きの交換頻度を記載させている。また汚物は蓋つきの容器に入れ、可能な限り迅速に搬出するよう努めている。 ・ 動物の生理に合わせてタイマーにより明暗を管理している。 ・ 温湿度管理はエアコンや加湿除湿機能付き空気清浄機で行っており、経時記録計を用いて温湿度

の推移をデータとして採取している。時折一時的に湿度の逸脱があったが、その高低に合わせ、適宜除湿や加湿の対策を行った。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」(平成 25 年環境省告示第 84 号) 「動物実験の適性な実施に向けたガイドライン」(2006 年 日本学術会議)
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 実験動物管理者により 2 回、19 名に対して、3Rs (Replacement, Reduction, Refinement) の考え方とそれらの具体例、本施設における実践方法、逸走防止のための対策方法、飼養管理やその記録に関する方法、生命の尊厳、人獣共通感染症について説明がなされた。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験計画書、動物実験の経過報告書、動物実験の自己点検票
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 該当なし
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

【使用動物数】

① 令和 7 年度動物実験件数 14 件（未実施 4 件を除く）

② 使用動物総数

マウス：821 匹

ラット：117 匹